

栄養治療学演習

栄養治療学演習

4単位 (選択) 1年(通年), 2年(通年)

武田 英二(授業責任者)・教授/人間栄養科学専攻, 竹谷 豊・准教授/人間栄養科学専攻

【授業目的】 [目的]

【授業概要】 栄養障害性疾患の病因, 病態, 栄養療法に関する文献抄読, 間接熱量計を用いたエネルギー-消費量の測定と評価, 食品・経腸栄養剤・静脈栄養剤の機能及び薬剤との相互作用の最新情報をインターネットを用いて検索してまとめる. また, 実際に患者のエネルギー-消費量測定や栄養評価を行い, チーム医療(NST)に参加させて栄養治療法を習得させる.

【授業方法】 オムニバス方式

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】 [目標]

【授業計画】

1. 小児, 成人, 妊婦及び高齢者などのライフステージ別に特有の栄養障害性疾患の病態や栄養療法をとおして理解できるように指導する. また, 最新の栄養治療法を習得させる. (担当者: 武田教授)
2. 患者のエネルギー-消費量を間接熱量計を用いて測定し栄養代謝及び病態を理解させる. 国内外の治療データベースや各種文献情報から最新の栄養治療法に関する知見とその活用法について習得させる. (担当者: 竹谷助教授)

【成績評価】 実験実習への出席状況により判定する

【再試験】 なし

【教科書】 [教科書]

【参考書】 [参考資料]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217644>

【連絡先】 [連絡先]

栄養治療学演習

4 units (selection) 1st-year(whole year), 2nd-year(whole year)

Eiji Takeda(Manager)・PROFESSOR / 人間栄養科学専攻, Yutaka Taketani・ASSOCIATE PROFESSOR / 人間栄養科学専攻

Target 〔目的〕

Outline 栄養障害性疾患の病因、病態、栄養療法に関する文献抄読、間接熱量計を用いたエネルギー消費量の測定と評価、食品・経腸栄養剤・静脈栄養剤の機能及び薬剤との相互作用の最新情報をインターネットを用いて検索してまとめる。また、実際に患者のエネルギー消費量測定や栄養評価を行い、チーム医療(NST)に参加させて栄養治療法を習得させる。

Manner オムニバス方式

Keyword 〔キーワード〕

Fundamental Lecture 〔先行科目〕

Relational Lecture 〔関連科目〕

Goal 〔目標〕

Schedule

1. 小児、成人、妊婦及び高齢者などのライフステージ別に特有の栄養障害性疾患の病態や栄養療法をとおして理解できるように指導する。また、最新の栄養治療法を習得させる。(担当者: 武田教授)
2. 患者のエネルギー消費量を間接熱量計を用いて測定し栄養代謝及び病態を理解させる。国内外の治療データベースや各種文献情報から最新の栄養治療法に関する知見とその活用法について習得させる。(担当者: 竹谷助教授)

Evaluation Criteria 実験実習への出席状況により判定する

Re-evaluation なし

Textbook 〔教科書〕

Reference 〔参考資料〕

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217644>

Contact 〔連絡先〕